

9. 敷津松之宮・大国主神社

- ・神功皇后が三韓征伐より帰朝し、住吉大社から敷津の浜を航行していると海岸に荒波が打ち寄せ、渚に松を3本植えて、ここより潮が満ちないよう祈願し、その松の下に素盞鳴尊を祀ったのが由緒とされている。
- ・大国主神社：延享元年1744に神託があり、出雲大社の神を勧請して建立された。
- ・神社名は宗教法人敷津松之宮。
- ・木津勘助の像：天正14年相模に生れ、豊臣秀吉に仕えて堤防工事や新田開発に尽くした。徳川時代に木津川の開削により大阪の発展に寄与した。
- ・寛永16年1639の冷害・大飢饉の時、大阪城の備蓄米放出を願い出ましたが聞き入れられず、私財を投げうって村人に分け与えた。それも限度がありついに「お蔵破り」を決行、葦島(後に勘助島と呼ばれる)に流刑。75歳で亡くなった。墓は唯専寺。

凡 例	
卍	寺院・祠
卍	神社
令	立札・説明板
且	碑・道標
田	信号機
★	トイレ可

